

令和5年度 みやぞの幼稚園における自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせるよう改善等を話し合いました。

評価者 園長 藤澤 純子
主任 加藤 朋子 市野 祥子

A: 十分できている
B: だいたいできている
C: 一部検討を要する

項目

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価			意見・改善策
		A	B	C	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○			前年度の反省を生かし、全職員で検討し、さらに共通理解を深めていく。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○		
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○		
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○			日々遊びの工夫を見直し環境を整えていく。 こどもの主体性を大切に、ゆとりをもった保育をしていく。 廃材を利用し、創造性を膨らませる。 職員研修をしていく。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○		
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○			学年を考慮した流れにする。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○			年齢に合った活動内容を考える。 行事のねらいを十分生かせるように工夫する。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○		
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○			

◎保育の計画の編成を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価			意見・改善策		
		A	B	C			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			話し合いを通して、非常勤職員への職務内容の共通理解を図る。 係や仕事の分担は偏りがないように気をつける。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			常勤、非常勤に関わらず、意見を述べ合う環境を作るようにする。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			年齢別にねらいを設定しながらも個人の発達も考えていく。 異年齢の交流を充実させると良い。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6) 評価、資料を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別、クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		週報や連絡アプリで情報を発信している。 保健所の感染症情報を職員、保護者へ周知していく。 看護師より保健指導を行う。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
	研究・研修	園内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	○			ネットを利用して研修会に参加し、職員のスキルアップに努力している。 研修で知りえた情報等は、積極的に保育に取り入れていく。
			(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	○			
			(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
所外研究・研修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○		年齢		
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評価			意見・改善策	
		A	B	C		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			取り扱いには常に気をつけている。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外、設備の安全点検を計画的に作成・処理しているか。	○			常に改善点を考えながら保育をしている。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		小学交流や老人施設と交流していく。 園外活動を通して、地域社会と関わりを持つ。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○			・保育参観は年2回行う他、行事の参観も行う。 ・保護者アンケートを実施し改善を図っている。また、書式を改善し回答しやすいよう工夫する。 ・0～5歳児対象の園庭開放や2歳児対象の子育て支援を行う。 ・子育ての相談を行う。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	子育て支援・情報・外部評価	(1) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(2) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
		(3) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を提供しているか。	○			
(4) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○			